

2020年4月9日

厚生労働大臣 加藤 勝信 殿  
厚生労働省 健康局長 宮寄 雅則 殿

東京保険医協会  
研究部長 申 偉秀  
地域医療部長 森本 玄始

## BCG ワクチンに係る要望書

新型コロナウイルス感染症に対して BCG ワクチンが有効ではないかとする報道を受け、医療機関には成人の方から BCG ワクチン接種を求める問い合わせが急増しています。

BCG ワクチンは「結核予防」のためのワクチンで、日本では通常、生後 5 カ月～8 カ月の乳児に対する定期接種が行われています。BCG ワクチンは出生数をもとに生産されており、余剰はないのが現状です。2017 年には 120 万人分が生産されましたが、そのうち 97 万人分が定期接種に用いられています。製造には 8 カ月以上を要するため、定期接種以外の需要が急増した場合は、ワクチン不足に陥り、乳児への定期接種が行えなくなる事態が危惧されます。都内の小児科では、すでに定期接種用の BCG ワクチンが入荷しない事態が発生しています。

乳児のいのちと健康を守るため、国の責任で以下の対策を早急に行うよう要望します。

### 記

1. 定期接種に必要な BCG ワクチンを確保し、供給不足に陥らないようあらゆる対策を講じること

以上